

2015 年度乳房再建用エキスパンダー/インプラント年次報告と合併症について

2015 年使用分（1月から12月分）の年次報告対象となった乳房再建用エキスパンダー実施施設 516 施設、および同インプラント実施施設 481 施設からの年次報告結果（とくに合併症について）については下記のとおりとなります。

エキスパンダー

再建の種類	症例数	合併症数(率)	うち抜去・入替を要した症例
一次再建	4725 件	452 件(9.6%)	160 件
二次再建	926 件	57 件(6.2%)	23 件
計	5651 件	509 件(9.0%)	183 件

合併症の内訳（509 件中、重複あり）

感染	149 件
皮弁(創縁)壊死・創離開など	196 件
出血・血腫・漿液腫	86 件

他に、疼痛のため抜去、エキスパンダー破損、など

インプラント

再建の種類	症例数	合併症数(率)	うち抜去・入替を要した症例
一次一期再建	463 件	33 件(7.1%)	8 件
一次二期再建	4030 件	170 件(4.2%)	33 件
二次再建	1200 件	42 件(3.5%)	6 件
計	5693 件	245 件(4.3%)	47 件

合併症の内訳（245 件中、重複あり）

感染	43 件
術後血腫・出血など	55 件
皮弁(創縁)壊死・創縁離開など	55 件
位置異常・回転など	23 件

他に、疼痛、被膜拘縮、露出、rippling(波打ち変形)など

総じて合併症発生率は許容範囲内と考えられるがやや上昇傾向となっている。

エキスパンダー、インプラントの実施施設数や症例数が増加しているため、今後感染・皮弁壊死に対する対策を普及させていく必要がある。

インプラントについては今後さらに拘縮など晩期合併症の報告増加が予想される。

(文責：朝戸裕貴)